

議会だより



- トピックス 2～3ページ
- 一般質問 4～7ページ
- 各委員会報告 8～14ページ
- 議会出前報告会 15ページ
- 質疑・討論 16～17ページ
- 世界少年野球大会・編集後記 ... 18ページ

写真/事代海岸でわかめ干し

第114号

平成25年度予算に経済・金融対策!!

平成25年度一般会計予算に低迷する高浜町の経済状況の活力を促す目的として、商工会発行のプレミアム商品券が発行されその10%を補助するものである。

更に、中小企業の設備資金・運転資金等の中小企業振興融資制度の利子分を全額補給するものである。これらの施策で多くの町民の皆さんの活力が見出されることを期待します。詳細は以下の通りです。

1. プレミアム商品券関連 ●事業の窓口は高浜町商工会です。

プレミアム商品券 ★1,000円商品券 11枚1セット(11,000円分)を 10,000円で販売!



★総額で10,000セット1億円分を販売!

1割のお得 個人消費者は 10,000円で商品券購入し 11,000円分利用できる!

個人消費者全体でプレミアムの1割を含めて 1億1千万円を町内で消費 最低でも1億1千万円の経済効果!

●販売スタートは 夏ごろを予定しています。

2. 利子補給拡充関連 ●町内の中小企業の方を対象にしています。 ●事業の窓口は取扱金融機関および高浜町商工会です。 ●設備資金と運転資金に係る資金の融資事業です。

H24年度まで

- 償還返済にかかる利息の 2分の1以内を町が負担
- 2分の1は個人事業主が負担

H25年度から

- 償還返済にかかる利息の 全額を町が負担
- ※ただし、遅滞利息は除きます

●事業スタートは4月からです。



・ 商工プレミアム商品券補助費!
・ 高浜町中小企業振興資金融資全額利子補給補助!

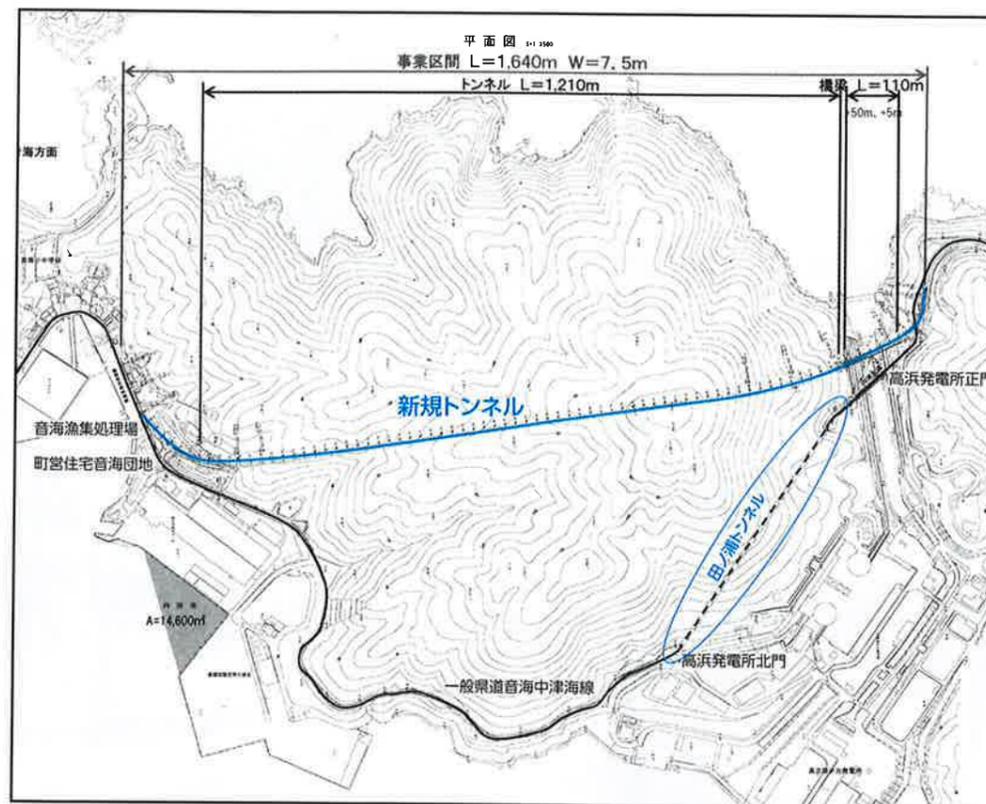


平成25年度 原子力防災インフラ対策費の骨格提示!



平成25年度一般会計予算(H24年度3月補正予算)に音海地区における原子力災害時の一時避難場所の安全性向上を目的に、県の原子力災害対策施設等整備補助金を充当し、旧音海小中学校の放射線防護機能(核シェルター)の向上のための事業費1億7,610万円を3月補正予算に盛り込まれた。

さらに25年度当初予算には、内浦地区の避難道の複線化のために、町道 柿ヶ渡線改良に向けた地質調査業務が盛り込まれた。加えて、県事業である県道音海中津海線のパイパストンネル工事や野原港高浜線の難波江坂改修計画なども具体化に向けた計画が示された。また、原子力災害時の高浜病院の改修も平成25年度以降に県事業として改修予定にある。着実に防災対策が進捗されるよう議会一丸となって取り組みます。



・ 旧音海小中学校の放射線防護機能(核シェルター)の向上のための事業!
・ 福井県原子力災害制圧道路等整備事業!



放射線防護機能に改良(旧音海小中学校)



平成25年度以降改修予定(高浜病院)



傍聴にお越しく下さい



傍聴の手続きは、議会事務局で住所・氏名・年齢を記入していただくだけです。次回定例会は6月です。お待ちしております。

高浜町議会事務局 ☎0770 (72) 7710



高収益型漁業への転換に補助を

答弁 事業対象者の協議を踏まえ検討する

機部 武史議員

【機部】

県は商品力アップ事業として、鮮度向上等の設備や燃費の良いエンジン等の導入に対し補助を行っている。

また、おい町でも県の取り組みと合わせた独自の補助制度を設けている。

操業コストを抑え、高収益型漁業への転換をおうとする「意欲のある漁業者」に対する補助制度を設けてはどうか。

【水産課長】

事業対象者である「意欲のある漁業者」と漁協とが十分な協議を行っていただき、その要望内容について県とも調整しながら検討する。

CATVインターネットの今後

【機部】

光ケーブルによる高速インターネット環境も民間事業者の参入で

町内全域に整備された。

町は、CATVインターネットサービスを行うために回線利用料として毎年約650万円支払っているが、民間のサービスに移行しても5えは不要になる。

利用者に対し、アナログからデジタルに移行したように十分周知を行いCATVインターネットの廃止も検討すべきではないか。

【防災安全課長】

昨年よりCATVインターネット事業の見直しを協議している。

現在の利用者のことも考慮しながら、回線利用料を廃止する方向で通信業者やプロバイダーと協議していく。



鳥獣害対策の現状と今後の対策について

答弁 個体数調査と新規事業を計上

井ノ元 康夫議員

【井ノ元】

現在鳥獣被害で様々な対策を行っているが、個体数の現状把握について、今年度の被害対策の内容、また若狭町に建設予定の食肉加工施設の進捗状況について問う。

【水産課長】

現在高浜町は獣害対策で捕獲、防衛、追い払いの3本で取り組んでいる。すべての獣種で昨年同様300頭を捕獲した。また防護柵設置では、柵の有無で大きく被害状況に差が出ている事、追い払い活動でも、活動の取り組みの仕方などで差が出ていることが実証された。この事から有害鳥獣が近づかない対策をすることが、必要であり今後も支援して行く。

現状個体数については、福井県が行う糞会調査をもとに平成23年度嶺南地域でシカ2万2千頭、イノシシ2万4千頭と推測され、サルは20年前の調査結果では50万3千頭であったが、現在では相当数

増えていると推測するが、資料、データでも頭数把握出来ていないのが現状である。現在調査中であり平成26年度に調査報告があるので結果報告する。

今年度の対策であるが、檻の管理をされる方の報奨金を増額し、今年度より新たに追い払い対策で、モンキードック育成事業、ヤギ放牧事業の補助金を計上した。

食肉加工施設の進捗状況であるが、処理施設敷地内に平成25年度建設着工予定である。しかし高浜町の獣類は、現段階では距離の問題で鮮度を保てない為、利活用は困難であろうと判断する。

様々な対策を実施しているが、各集落の皆様のご協力が必要不可欠で積極的に対策に取り組む。



平成25年度の予算は？

答弁 プレミアム商品券、中小企業貸付金利の全額補填！

山本 富夫議員

【山本】

平成25年度予算と原発避難道を含めた防災インフラ整備について。

【町長】

国の緊急経済対策で平成24年度3月補正予算と25年度予算をセットで約1億7千600万。

金融政策面で商工会が発行するプレミアム商品券1億円に1千万円補助。中小企業への貸付金利を全額補填する。



【山本】

近年、地方自治体のインフラ施設（一般ゴミ焼却施設・斎苑・不燃物最終処分施設等の広域化が進んでいるが何か計画があるのか。

【町長】

広域化は自治体の喫緊の課題であると認識している。衛生施設や他の一部を更なる広域化に向けた美浜町以西の各自治体による勉強会が開催され、現衛生施設の規模や型式、稼働・修繕状況等広域化に向けた諸課題の協議を進めている。

【山本】

学校、地域指導者の体罰問題と福井国体のハード面について。

【教育長】

幸い当町では体罰問題はないが学校、スポ少など連携を密に取り組む。国体の施設整備は、県において平成25年度から平成29年度までを競技開催地の施設整備期間と位置づけて対応する予定である。

議会決議を受け、コンパクトシティ計画をどう見直したか

答弁 真摯に受け止め見直している

小幡 憲仁議員

【小幡】

町議会では昨年6月議会で、財政の先行きが不透明な中でコンパクトシティ計画実施に慎重な対応を求める決議を行なった。新年度予算編成ではこの議会決議を受けてどのような見直しを行なったのかを問う。

【町長】

決議を真摯に受け止め事業を見直している。庁舎・公民館建設は町民意見をよく聴き現実的な機能選択を行なう。城山荘改築は宿泊機能の必要性も含め再検討するが財政状況から具体的計画を進める段階にない。公園整備は少しずつ具体化を進める。漁港再整備は財政状況が不透明な中で性急な事業実施は危険。今は、将来の準備作業を進める。

文化会館・図書館の改修計画

【小幡】

新年度予算に文化会館・図書館改修設計費が計上され、平成26年度以降に10億円規模の改修事業が計画されている。文化会館・図書館が有効活用される改修事業とすべきである。

【教育長】

文化会館、図書館が同じ敷地にあるメリットを生かし、いつでも誰でも学べる施設を目指して事業を進める。

地域の元氣臨時交付金について



渡邊 孝議員

【渡邊】 政府の「緊急経済対策」のなか
に「地域の元氣臨時交付金」があ
る。高浜町はどのような事業に充
当するのか。

【町長】 和田小学校・青郷小学校トイレ
改修工事、内浦小中学校体育館改
修工事などに充当。総事業費1億
2千100万円のうち5千300
万円が「臨時交付金」である。

【渡邊】 「臨時交付金」分だけ一般財源を
支出しなくてよくなったことにな
る。これを国民健康保険の被保険者
の負担軽減に利用できないか。

【町長】 総合的によく検討する必要があ
る。



◆漁業振興について

【渡邊】 漁業振興において、もっとも基本
は漁獲量の安定生産であると考え
る。その方策を問う。

【まちづくり課長】

水揚げ量全体の70%を占める定
置網漁業に大規模な支援を実施し
てきた。今後は、付加価値化の追求
また、魚礁の設置、いけす整備によ
る出荷調整など「柔軟でたくましい
明日の漁業」を促進していく。

◆上水道センター耐震化について

【渡邊】

上水道センターの耐震化の検討
はどのようになっているか。

【上水道課長】

当初計画では、平成26年度頃に
「町水道ビジョン」により設計に入
る予定であったが、財政状況など諸
情勢の変化により、平成26年度頃に
ビジョンの見直しをせざるを得な
くなった。

新年度コンパクトシティ まちづくり施策の取り組みは



上尾 徳郎議員

答弁 町民に提言し意見を集約して取り組む

【上尾】

庁舎・公民館は9月に基本設計
を取りまとめるとのことだが、検
討作業の手順と住民の意見聴取の
機会の設定時期は。

【町長】

基本的な事項を詰める段階とな
り、建設検討委員会などで審議を
進めて頂くなか、4月中には計画
の素案を示して住民説明会を開催
し、女性・若者・子育て世代の参
加も頂き幅広い立場の意見をバラ
ンスよく取り入れながら、一般町
民対象のワークショップやパブリ
ックコメントなどの意見も参考に
計画の熟度を高めていく。

【上尾】

社会教育と生涯学習・公民館活
動の連携と位置づけは。

【教育長】

社会教育関連職員は、教育委員
会事務局同様に庁舎スペースに配
置し、新しい公民館事務室には館
長・公民館主事・事務員を配置し、
公民館の管理・運営にあたる。

子供の安全と 若宮海岸町有地の管理について



西出 秀雄議員

◆通学路の安全対策について

【西出】

文部科学省・国土交通省・警察
庁合同で、通学路の緊急点検を要
請され、対象箇所等を記した。
図面を公表した自治体が申請で
使用できる国の24年度補正予算25
年度予算の活用は（防災安全交付
金）高浜町は全小学校で公表13ヶ
所に対策が必要とあるが、取り組
みは。

- ◆若宮海岸線について
【西出】
- ①防波堤の劣化が見られるが、
今後の保守、点検は。
- ②若宮臨海の劣化の管理改修の
計画は。
- ③旧若宮苑の町有地の管理、整
備計画は。

【副町長・まちづくり課長】

- ①海岸保護施設の老朽化調査、
点検は県が実施、町も目視点検を
実施、長寿命化を計る。現在は改
修計画はない。
- ②現状維持を図り、県当局とも
協議、調整で対応を進める。
- ③利用計画は今の所はないが、
総合的、一体的に据えた整備計画
の中で有効利用を検討する。管理
はシルバー等の活用で対応する。

【教育委員会事務局長】

各学校で月2回、学期ごとに通
学路点検を実施、交通安全指導ポ
ランテアや保護者の付き添い等を
実施、高浜小学校区8ヶ所、和田、
内浦小学校で2ヶ所、青郷小学校
で3ヶ所、取り組みは路面表示、
誘導ポール、カーブミラーの設置、
通学路の変更歩道の拡幅を中長期
的に対応する。

過去の観光 地域振興イベントの成果を問う



粟野 明雄議員

【粟野】

高浜町は数々のイベントを行っ
てきた。その結果どのような実益
が残ったのか。イベントのチェッ
ク機能は働いているか。また、観
光業者の会員数・税収の推移もデ
ータで示されたい。

【まちづくり課長】

イベントの来場者数は、おおよ
ね横ばいである。観光協会の会員
数は、ここ十年で四割減。税収は
わからないが、落ち込んでいると
考える。今後はイベントの必要性
を検証して予算措置を執る。また、
目的を明確にし誘客促進・収益向
上などのチェックを図る。

◆非常時の個人情報扱いを問う

【粟野】

実例であるが、福島では住民避
難で、誰が何処にいるのかわから
ない事態が発生した。

ある事業所の経営者が給料を払
うため住民の避難場所を役場に尋
ねた。行政は「個人情報なので教

えられない」という返事をした。

高浜町の対応を問う。

【総務課長】

緊急かつやむを得ないと認める
ときは本人の同意が無くても個人
情報の提供はできる事になってい
る。災害時でも避難所入所者の同
意を得た上で情報提供する。

◆青葉山の利活用の方向性を問う

【粟野】

里山の活用は日本人の生活の原
点である。青葉山は高浜の里山の
象徴である。また、青葉山は有用
植物の宝庫である。その意味で宝
の山である。保護と活用の方向性
を問いたい。

【副町長】

青葉山は貴重な植物が自生する、
潜在価値が高い地域資源である。
いきいきタウン高浜では、植物調
査が実施され今後は活用方法事業
化が検討される予定で、自然環境
の保護を前提に、観光・産業分野
への波及策を検討し進める。

予算決算常任委員会

委員長 西出 秀雄

◇3月11日(月) 9時より

審議事項

付託案件の審査

議案第1号

平成24年度一般会計補正予算(第7号)

【補正予算の概要】

4億230万1千円を追加。歳入歳出それぞれ84億4千75万6千円。

【審議(質疑)の概要】

◆総務費

青の里地域振興事業(1千850万円)について

各委員から運営費、馬車費、人件費が高いのでは?考え直しては意見が多くあり、予算執行に当たっては十分検討する旨の答弁があった。

◆民生費

地域福祉向上事業(760万円)について

【予算の概要】
総額は歳入歳出それぞれ75億7千986万8千円。

審議事項

付託案件の審査

議案第10号

平成25年度高浜町一般会計予算

内容は旧日引小学校の一部を改修してふれあい広場を作る予算について審議した。

◆農林水産業費

県営農業農村整備事業の負担金(1千104万5千円)について

内容は和田地区と下地区のため池改修である。

◆土木費

道路点検・修繕計画や橋の補修事業費(1千354万5千円)を確認

◆消防費

原子力防災対策施設改修費(1億7千610万円)について

内浦小中学校の改修費である。【全員賛成で可決】

【審議(質疑)の概要】

◆総務費
青の里活動推進業務費について
人件費、馬車の運行費が高いのではとの意見あり、見直しをする事で了承。

◆農林水産業費
日引の浮波堤解体撤去工事費(4千768万6千円)について
新規築堤するにあたり既存の浮波堤を撤去、解体し漁礁に活用されることが検討されている。

◆土木費
まちなか居住推進事業費(3千407万1千円)について
拠点施設として旧塩谷の取得費と住環境支援事業、空き家情報パ

◆農林水産業費

鳥獣害対策事業について
モンキードッグ導入事業とヤギ放牧については新規事業として行う予定である。

◆土木費

まちなか居住推進事業費(3千407万1千円)について
拠点施設として旧塩谷の取得費と住環境支援事業、空き家情報パ

◆土木費

まちなか居住推進事業費(3千407万1千円)について
拠点施設として旧塩谷の取得費と住環境支援事業、空き家情報パ

拠点施設として旧塩谷の取得費と住環境支援事業、空き家情報パ

総務産業常任委員会

委員長 磯部 武史

◇3月14日(木)

○委員全員出席者の下、当委員会に付託された25案件について審査し全議案を可決した。

議案第15号

平成25年度高浜町簡易水道事業特別会計予算

免許取得負担金19万1千円の説明を。

以前は普通免許で積載量5トンまで運転できたが、平成19年6月以降に免許を取得した場合3トン未満と改正された。保有する給水車の積載量が4トンであるため中型免許を取得するための費用である。

【全員賛成で可決】

議案第16号

平成25年度高浜町公共下水道事業特別会計予算

公共下水道事業会計に雨水対策施設整備が入るのなぜか。
国交省の事業では下水道事業の

中に雨水対策整備事業があり、社会資本整備の補助金でも、公共下水道と雨水対策が一つの中にある。下水道認可を受けて雨水対策業務を行う形になっているためこのようにしている。【全員賛成で可決】

議案第17号

平成25年度高浜町集落排水事業特別会計予算

子生三松の供用開始はいつか。

子生が26年度、三松が28年度供用開始である。

マンホールの蓋が除雪作業に支障をきたす箇所があるがこつしたことも点検しているのか。
パトロールし飛び出た箇所については修繕している。

町内に約5000箇所あるが25年度は重点的にチェックしていく。また、除雪に対応した、エッジがなまめになった蓋も出ており、古くなった箇所については交換していく。【全員賛成で可決】

◆消防費

防災安全対策費(1千666万7千円)について
津波ハザードマップ作成と海拔表示板設置100箇所等である。

◆教育費

小学校施設整備事業

高浜小、和田小学校の空調設備工事費。和田小、青郷小トイレ改修。和田小プール改築、内浦小中学校の体育館改修費等である。

◆民生費

青郷保育所改修(総事業費2億4千315万9千円)について
西地区体育館を利用し仮設保育所(2千880万2千円)を建設し、8月頃より保育所施設改修の予定である。

◇福井国体への早期取り組み、庁舎・公民館などについて質疑が多くあった
【賛成多数で可決】

【賛成多数で可決】

それでも限界があるとするならばその方向で行くしかないと考えている。
【討論はなく、全員賛成で可決】

議案第21号

平成25年度高浜町水道事業特別会計予算

将来的には配水池がもつ必要がある。【討論はなく、全員賛成で可決】

20年度に策定した水道ビジョンにもリスク分散の観点から第2配水池の必要性は認識している。
【討論はなく、全員賛成で可決】

議案第40号

高浜町まちの駅の指定管理者の指定テナントと管理者は別の方がいいのではないか。
町から事業補助金も入れており、公私混合のないよう行政指導していく。
収支計画の見直しをするというが明確にしているのか。
具体的な見直しについては、コパンと若狭和田駅・青郷駅の切符販売の廃止を検討し25年度中に結論を出すという事である。
【討論はなく、全員賛成で可決】

議案第18号
平成25年度高浜町公有水面埋立事業特別会計予算
グラウンドゴルフ場を要望する声があるができないか。和田地区だけでなく幅広く意見を聞いてもらいたい。
企業誘致の取り組みの中で、B&Gの機能を移転させる案もあるが検討段階である。

関西電力のメガソーラーを設置する場所は決まったのか。
東側の端部分を賃借契約する。
【討論はなく、全員賛成で可決】

議案第20号

平成25年度高浜町国民宿舎事業特別会計予算

経営は行き詰っていると考えた方がよいのでは。
リニューアルまでの期間でできるだけ赤字を抑えるため、人件費の中で、支配人業務委託の継続について25年度で判断したい。

リニューアルまではコンベンション機能に特化してやるという事か。
25年度はあらゆる手段を尽くし、

厚生文教常任委員会

委員長 横田 則孝

◇3月15日(金)

審査事項

付託案件の審査

●請願第3号

■生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願

【賛成少数で不採択】

●議案第2号

■平成24年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

【全員賛成で可決】

●議案第3号

■平成24年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

【全員賛成で可決】

金100万円

福井県後期高齢者医療広域連合納付

納付は毎月あり年に12回ある。

【全員賛成で可決】

●議案第4号

■平成24年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第3号)

若狭地区介護認定審査会負担金について

認定システム改修費の分担金である。

【全員賛成で可決】

●議案第11号

■平成25年度高浜町国民健康保険特別会計予算

ジェネリック医薬品の普及取組について

国民健康保険証の発行時にリーフレットなどや後発医薬品差額通知書を配布して普及に努めている。

【全員賛成で可決】

●議案第12号

■平成25年度高浜町国民健康保険診療所特別会計予算

【全員賛成で可決】

●議案第13号

■平成25年度高浜町後期高齢者医療特別会計予算

【全員賛成で可決】

●議案第14号

■平成25年度高浜町介護保険特別会計予算

地域密着型介護サービスについて

町内で新たに実施される予定がある。今後は介護予防事業に力を入れていきたい。

【全員賛成で可決】

●議案第22号

■高浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

【全員賛成で可決】

●議案第23号

■高浜町指定地域密着型予防サービスに併せて高浜町指定地域密着型予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

【全員賛成で可決】

●議案第35号

■高浜町し尿処理条例を廃止する条例

今後の笠原浄化センターについて

浄化槽を埋め戻しをして最低限の経費で管理する。

●議案第36号

■高浜町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成で可決】

●議案第37号

■高浜町浄化センターの設置及び設置条例の制定

【全員賛成で可決】

●議案第38号

■高浜町重度障害者等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成で可決】

●議案第39号

■高浜町青少年愛護センター設置条例の一部を改正する条例

【全員賛成で可決】



地域医療対策特別委員会

平成23年度、24年度

委員長 廣瀬とし子

高浜町の住民が安心して医療・福祉をうけられることを目指し、医療体制の充実を図る為に、「地域医療対策特別委員会」を立ち上げ議員6名で構成して活動した。

◇平成23年6月16日(木)

●社会保険高浜病院を核としてこれまでの経過と今後の課題

地域医療の再生は町づくりの第一歩と位置付け高齢者等が、安心して生活出来るか検討した。医師の確保には、医師の定着を基本とし働きやすい環境を作り、住民の意識改革が必要である。

◇平成23年9月20日(火)

●公益財団法人・嶺南医療振興財

団より現状と今後の状況

嶺南地域の医師不足を解消し医師水準の向上に寄与する目的で、関西電力(株)が中心となり、平成19年3月1日に設立した。財団では「医学生奨学金制度」を設け医学科生には、奨学金の貸与を行っている。平成25年度から嶺南

地域の医療機関での勤務が予定される。

●高浜町寄附講座の現状

高浜町の医療に関する寄附講座の開設は平成21年9月から平成24年3月までの3年間年々2千万円の予算で支援した。

福井大学医学部地域プライマリケア講座より診療補助や医学教育を行っている。和田診療所を中心に実習や研修を行い今までの地域に研修医の受け入れは皆無であったが、この講座を設けたため、医学生や研修医が増加の傾向である地域の医療と介護の両面に於いて喜ばしい現状である。この寄附講座は継続し地域医療に必要な

である。

◇平成24年3月19日(月)

●今後の高浜病院に対する、町行政方針

高浜病院については、地域医療ワーキンググループの提言を踏まえて検証を進める中で、専門機関による病院経営診断の結果、町所有が望ましいとの提言もあり、独立行政法人年金健康保険福祉施設

整理機構(RFO)より譲渡の方向で、病院側と協議した。

◇平成24年6月14日(木)

●①たかま地域医療サポーターの会現状及び今後の活動

第一回地域医療フォーラム後2009年9月発足から3年になる。地域医療・福祉の推進や住民啓発について、「住民の立場で考え実行しよう」と集った住民有志の方々、医療・行政・住民三位一体で地域医療課題の「かけはし」を目指す。医療に対して感心を持つことが大切である。地域医療フォーラムや啓発ビデオの企画・地域医療を守り育てる五か条なども取り組んでいる。

●②特別養護老人ホーム

「高浜けいあいの里」施設見学当施設は30床を増築される。一階は駐車場で2・3階は全て個室で入所者のプライバシーが保たれ生涯安心して過ごせる空間と、時間をもてる部屋である。

◇平成24年9月18日(火)

●高浜病院の譲渡について

町として譲渡を受けるための条件や期限があり、厚生労働省、全

国社会保険協会連合会、そして指定管理者として候補に上げていた、地域医療振興協会などあらゆる関係機関との協議を重ね、一番の課題である条件、今後主軸となつていく医師をみつけることができないために、現段階において町が譲渡について介入するには、無理があるとの現状説明がされた。

◇平成24年12月13日(木)

●複合福祉施設の現状と課題

「であいの郷」平成19年1月4日高浜町指定地域密着サービス事業者となる。開設後5年が経過したが入居者の多くは他府県の方の利用である。デイサービスやショートステイ等も地元の方々に気楽に利用してほしいとのことである。福祉施設側は高浜病院との連携が必要である。

◇平成25年3月18日(月)

●高浜病院の現状と今後の課題

地方の医師不足がつづいており現在常勤医師3名・非常勤医師で診療を行っている。3月には定年退職者の看護師がおり看護不足になる。平成24年12月から託児保育を開設した。

鳥獣害対策特別委員会 中間報告並びに総括

委員長 山本 富夫

特別委員会2年間の活動として高浜町における鳥獣被害等の調査と現状把握を行ってきた。これらの被害は農作物だけでなく、生活環境や施設損壊など様々な被害があることを確認した。それらの対策としての鳥獣害対策予算が「効果的にあるのか」その「着眼点に問題がないか」について検証した。その中でも電気柵やネット柵における効果については、設置施工によるコスト削減等を確認した。その他、追払い器具や狩猟免許取得者への支援や補助事業を中心とした獣害対策の進捗状況を精査した。また、先進地や現地へ赴き、住民の意見聴取や新たな対策の模索を行う中でも農地で作物を耕作する為には、獣害対策の必要性、緊急性の観点からも恒久対策を構築すべき状況であること確認した。

現地視察においては、柵の設置状況等の確認と状況把握を行い、農家皆さんのご協力により精度ある捕獲が実施されていることなど

の現状確認することができ、捕獲体制を進捗するためには地域住民の話し合いをより深く進めていかねばならないと感じた。又、各集落における獣害防止策の取組については、横津海区の恒久柵や和田地区のネット柵も現場の状況や集落の意見を聞き地元の思いや効果を確認した。

先進地への視察においては、おおい町の山際金網恒久柵を視察し、設置に対する考え方、国県の補助金内訳と設置における実施体制及び管理体制について、高浜町においての活用方法を模索した。

中でも、平成23年から建設が始まり平成24年度から供用開始された有害鳥獣施設（若狭町海士坂）については、建設時より状況を確認し、供用後の稼働状況について高浜町からの搬入状況を調査し、高浜町における獣害処理に利便性向上が図られている施設であるかどうかを確認した。さらに、当施設の隣接地にシカ、イノシシを食肉加工する施設建設計画も予定され、6次産業化に向けた取組みも確認した。それらの6次産業化で高浜町においては、別途計画を構築する必要性が示された。地域の

方々の取組いかんでは獣害対策と6次産業が相乗的な効果をもたらすことも確認できた。

平成25年度鳥獣被害対策施策として、徹底した追払いを目的としたモンキードッグ育成に対する助成金、ヤギの放牧による山際の獣害侵入を防ぐための助成金などが新たな施策として盛り込まれた。

委員会2年間における活動から獣害対策を取り組むことの難しさを理解した上で、地域住民が安心して暮らせるまちづくりを目指した対策を推進するためには、議会、行政、地域住民（猟友会、農家組合）のより深い相互理解を図るとともに強力な推進体制を構築していくことが必要である。鳥獣害対策特別委員会の積極的な取り組みにより獣害対策の根本的な取り組みに一定の成果が構築できたことは意義あるものと確信した。

今後は高浜町全体の鳥獣害対策を見据え、当特別委員会は当面継続して設置し、関係機関との調整機能を有していくことの必要性を定義して当委員会の中間報告並びに総括とする。



有害鳥獣処理施設 視察



おおい町恒久柵 視察



町内恒久柵 視察

原子力対策特別委員会

委員長 上尾 徳郎

◇3月19日(火)

◇13時30分より、関西電力高浜発電所の長谷所長から、現在の高浜発電所の状況について。本店の土木建築室原口チーフマネージャーから、大飯発電所F-6破碎帯調査と高浜発電所の地質データの拡充についての説明をうける。

◇15時15分より、資源エネルギー庁原子力発電立地対策・広報室山田室長より、エネルギー政策・原子力政策の動向等についての説明を受ける。

■高浜発電所の現在の状況に CSN

運転状況は、大飯発電所3・4号機のみ運転中であり、高浜発電所では安全性向上対策を自主的かつ継続的に進め、世界最高水準の安全性を旨として安全性向上対策に順次取り組んでいる。

現在、重要施設のある取水設備回りの防護壁を建設中で3月中旬に完成の予定また、3・4号機格納

容器内に静的触媒式水素再結成装置を設置した。防潮堤を26年度中に内浦湾側、27年度中に若狭湾側を完成予定である。

■大飯発電所F-6破碎帯調査と高浜発電所の地質データの拡充について

断層とは、地層の中に見られる「ずれ」を総称している。活断層の定義とは、約40万年間を目安に繰り返し活動し、将来も活動する事が推定される断層。認定方法として断層の上に堆積層がある場合と無い場合の認定方法（複数の方法が必要）がある。

破碎帯とは、地層の中に見られる岩盤が破壊された部分を総称している。

F-6破碎帯調査は、昨年当時の原子力保安院の「念のため現地での直接確認が必要」との判断で計画し実施してきた。現在、原子力規制委員会が自ら確認と評価をし、認定にかかる判断をすることで調査を行ってきたが、活断層か地滑りは委員の中でも意見が分かれるため、更なる情報取得の為に敷地内南側でトレンチ調査を行う。高浜発電所では、発電所敷地内

にてボーリング調査等を実施し、地質や地質構造に関するデータを収集し、耐震安全性評価の為に必要な地質データの拡充に努めている。

委員からは、高浜発電所では過去に断層や破碎帯についての調査はされているのか。規制委員会で判断の分かれているのは何故か、いつ誰が判断し決定されるか。有識者の中に地質や地層学の専門家はおられるのか。等の質問に丁寧に解りやすく答えて頂いた。

■エネルギー政策・原子力政策の動向について

これまでのエネルギー政策として、政策やオイルショック等を踏まえた供給構成の変遷、化石燃料を取り巻く現状そして、2010年閣議決定のエネルギー基本計画の説明。

最近のエネルギー政策を巡る動きとして、前政権下でのエネルギー環境会議の経緯、原発に依存しないとした革新的エネルギー・環境戦略の概要の説明。

現政権のエネルギー・環境戦略をゼロベースで見直し、責任あるエネルギー政策を構築して、安全

が確認された原発は再稼働する。

省エネルギーと再生可能エネルギーの最大限の導入、電力システムの抜本的改革、「多様な供給体制とスマートな消費行動を持つエネルギー最先進国」へのアクションプランの紹介、総合資源エネルギー調査会、等の説明。

原子力政策について、震災後の電源構成の変化、原発の運転年数と運転状況や、安全を支える産業構造、世界の動向、そして、再稼働・新增設・核燃料サイクルに関する大臣の発言や、長期稼働停止に対する当面の対応策などについて説明。

委員から、長期稼働停止による経済・財政的支援や交付税の柔軟な利用や、技術者確保の為に雇用保障等の具体的な支援を望む。使用済み燃料についての具体的説明がないが重要課題として取り組むべきである。

CO₂削減に向けた国連などでの公約はいきているのか。多数の原発を有する若狭地方にこそ原子力に関する研究施設を立地すべきではないか。また、原発反対の立場での意見など多くの質問や要望があった。

嶺南広域行政組合議会

委員 西出 秀雄

◇12月27日(木)

敦賀市立図書館議場

会期を本日1日に決定

議案第1号

嶺南広域行政組合会議規則の一部改正
【全員賛成で可決】

議案第4号

組合監査委員の選任につき同意を求め
る件
【全員賛成で同意する事に決定】

【全員賛成で同意する事に決定】

議案第5号

平成23年度嶺南広域行政組合一般会
計歳入歳出決算認定

歳入決算額6億8795万
1382円、歳出決算額6億
8575万5856円、差引
219万5526円。

◆総務費
・ポケット時刻表作成事業(36万
8千円)

若狭消防組合議会

委員 山本 富夫

◇12月26日(水)

若狭消防組合本部

議案第1号
平成24年度若狭消防組合一般会計補
正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出
それぞれ574万円を減額し歳入
歳出予算の総額を歳入歳出それぞ
れ1426612千円である。
【賛成多数で可決】

議案第2号

若狭消防組合職員の再任用に関する
条例の一部改正
【賛成多数で可決】

慎重審議の結果【全員賛成で可決】

議案第3号

若狭消防組合一般職の給与に関
する条例の一部改正
【賛成多数で可決】

慎重審議の結果【賛成多数で可決】

議案第4号

若狭消防組合職員の懲戒の手続き及
び効果に関する条例の一部改正
【賛成多数で可決】

慎重審議の結果【全員賛成で可決】

議案第5号
若狭消防組合監査委員の選任につき
同意を求めること
倉谷典彦氏(若狭町)の平成24
年12月末日任期満了に伴い、新た
におおい町岡安の新谷和行氏の同
意が求められた。
【全員賛成で同意】



高浜町に更新配備された救急車



嶺南広域行政組合議会

委員 西出 秀雄

◇12月27日(木)

敦賀市立図書館議場

会期を本日1日に決定

議案第1号

嶺南広域行政組合会議規則の一部改
正
【全員賛成で可決】

議案第4号

組合監査委員の選任につき同意を求
める件
【全員賛成で同意する事に決定】

【全員賛成で同意する事に決定】

議案第5号

平成23年度嶺南広域行政組合一般会
計歳入歳出決算認定

歳入決算額6億8795万
1382円、歳出決算額6億
8575万5856円、差引
219万5526円。

◆総務費
・ポケット時刻表作成事業(36万
8千円)



漁火想

若狭消防組合議会

委員 山本 富夫

◇12月26日(水)

若狭消防組合本部

議案第1号
平成24年度若狭消防組合一般会計補
正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出
それぞれ574万円を減額し歳入
歳出予算の総額を歳入歳出それぞ
れ1426612千円である。
【賛成多数で可決】

議案第2号

若狭消防組合職員の再任用に関する
条例の一部改正
【賛成多数で可決】

慎重審議の結果【全員賛成で可決】

議案第3号

若狭消防組合一般職の給与に関
する条例の一部改正
【賛成多数で可決】

慎重審議の結果【賛成多数で可決】

議案第4号

若狭消防組合職員の懲戒の手続き及
び効果に関する条例の一部改正
【賛成多数で可決】

慎重審議の結果【全員賛成で可決】

議案第5号
若狭消防組合監査委員の選任につき
同意を求めること
倉谷典彦氏(若狭町)の平成24
年12月末日任期満了に伴い、新た
におおい町岡安の新谷和行氏の同
意が求められた。
【全員賛成で同意】



高浜町に更新配備された救急車



議会をチェックするのはあなたです

町議会
出前
報告会



批判や意見、提言など
自由なご意見をお聞かせください。

皆さんの声を

町政に!

今回のテーマ

「第114号 議会だより」を
参考に意見交換します。

その他、町民の皆様の町政に対するご意見を伺います。

5月16日
(木)

午後7:30~9:00

2会場同時開催

会場1/会場2

会場1/保健福祉センター



出席議員 ・的場議長
・勝本議員 ・磯部議員 ・廣瀬議員

会場2/内浦公民館



出席議員 ・栗野副議長
・渡邊議員 ・小幡議員 ・井ノ元議員

どの会場でも自由にご参加ください。

5月17日
(金)

午後7:30~9:00

2会場同時開催

会場3/会場4

会場3/文化会館 第一研修室



出席議員 ・的場議長
・西出議員 ・上尾議員 ・大塚議員

会場4/青郷公民館 第一研修室



出席議員 ・栗野副議長
・山本議員 ・横田議員 ・清常議員

質疑

議案第1号

平成24年度高浜町
一般会計補正予算(第7号)

山本富夫議員

本来であると減額補正が通常あると思うが、今回4億230万1千円の追加補正である。25年度へ繰越明許されているが、24年度内に組まれた理由と事業の詳細な内容を伺う。また国は24年度補正予算を可決したが、高浜町としての関連性はどうか。

副町長

繰越については今政権で多くの補正予算で対応をし、緊急経済対策補助金と元気臨時交付金と合わせ事業執行を支援した。国としては緊急対策であるが、25年度中の完成を指導しているが、各庁で、補正予算と当初予算に計上する物に分かれているが、25年度に繰越をした。



討論

請願第3号(継続)

生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願

賛成討論

渡辺 孝議員

安倍政権は3年を掛けて生活保護削減を計画している。受給者は生活費を削りギリギリの生活をしている。削減が実行されれば、就学援助や各種課税の引き下げなど最低賃金にも連動して行く。9割以上が減額され深刻な状態になる為請願の通り賛成する。

反対討論

栗野明雄議員

不適切な受給者が多く、改める事が必要である。弊害が出るならば他の制度で見直すべきであり、正直者が損をしないようにして行く事が妥当であると考え、請願に対して反対とする。

【賛成少数で不採択】

小幡憲仁議員

教育費/高等学校生徒通学費について定期助成金に522万8千円減額についてであるが見込みの4分の3の申請であった事が理由と聞いたが、生徒数は把握できているのに申請者が少ないのは、この制度をご存知ないのではないか。また申請しない理由を分析しているのか。申請が面倒な為手続きされない方が多いのではないかと。

教育委員会事務局長

本年度より実施した事業であるが、実際何名の申請者があるか把握出来ず過去3年間の卒業生の人数をもとに割り出し予算を計上したが、申請者はその7割であった。残り3割の方は就職、県外の高校へ進学されるなど条件を満たさない方であると推定している。

制度周知では広報たかはまに2回、卒業時のチラシ配布、町ホームページ、各駅の駅員の方からのチラシ配布など行っている。

在学証明書の発行に時間がかかり面倒で申請されない方がいると聞く、今後申請時の負担軽減に努め、文字放送でも告知して行く。

討論

議案第10号

平成25年度高浜町
一般会計予算

反対討論

渡辺 孝議員

評価出来る事業もあるが、多年に渡り消費不況が続いている。解決策は雇用の安定と賃金引上げによる消費拡大の他にない。今は国民健康保険の非保険者への配慮を求めるべきである。

新庁舎建設に向けた基本設計作成費用が計上されたが、現在の庁舎を改修して使用すべきである。

城山公園、漁港は最小限必要な改修のみを行うべきである。

同和対策事業は終了すべきである。原発関連財源は不安定で不健全な財政である。以上の理由で反対する。

賛成討論

山本富夫議員

わが町は先人、先輩方の決断によつて進められた原子力政策のことによつて一つの地場産業が形成され今日まであらゆる分野において大きく寄与された。東日本の事故後、世界最高水準の安全対策を構築するため鋭意努力されてい

質疑

議案第10号

平成25年度高浜町
一般会計予算

山本富夫議員

①商工費/中小企業振興資金貸付預託事業で資金を借りる際の担保、保証料はどうか。

②高浜町商工会のプレミアム商品券の補助金はどのような仕組みで検討されるのか。

③防災対策費で自主防災組織を町内全区に設置する計画はないのか。

④高等学校生徒通学費助成金は2割減額があるが、遠方に進学されている方の為に帰省する際この助成金は対象にならないか。

まじゅう課長

①それぞれの金融機関の定める担保、保証制度である。

②5月に行われる商工会総会の議決で最終決定されるが、1枚千円の商品権を11枚セットし1万円で購入する。1万円を商工会に補助し販売総額を1億円として1億1千万円の経済効果が生まれるものである。

防災安全課長

③今後各区に向き自主防災組織の重要性を訴え全行政区で組織結成達成に向けて説明する。

そのことを冷静に見て確認している。最終的には政府が判断する。

新庁舎については安全性、省エネ性を考慮して設計していかねければならない。

同和対策事業については、人権問題の歴史がある中で高浜町は人権関係の条例を制定して、学校等でも必要性を学習し、全国的にも先進地であり、あらゆる差別を無くすことが基本原則となっている。以上のことから賛成する。

【賛成多数で可決】

討論

議案第18号

平成25年度高浜町公有水面
埋立事業特別会計予算

反対討論

渡辺 孝議員

平成22年度に第2工区の変更改更可申請も済んでおり事業も終了しているが、以後工事の為に借りた元利償還が続いている状況である。この事業自体に反対の意志を示すために反対。

賛成討論

山本富夫議員

公有水面の利用についてはしっかり計画していくことを要望し賛

組織結成を条件に防災資機材や備蓄品購入補助を行う。

④本事業は通学定期券の購入助成が目的であり該当しない方がいるが今後検討する。

渡辺 孝議員

債務負担行為について短期、中期の財源を先取りするものと理解している。期限を切っていないが25年度以降はどうするのか。単年度ごとであれば債務負担行為にはならないと思うが。

また同じ債務負担行為の質問で、役場庁舎の空調設備であるが、エコアイスで電力料金を節約することができるが、長期間利用してきたが25年度計上していないのはなぜか。

副町長

債務負担行為を起こした最終年度25年度までが期限のものと、28年期限のものがあり示してある。

エコアイスシステムについては、関西電力(株)の所有権のもので、契約期限が24年度末で終了した。25年11月分までは24年度支払い済で、25年12月から翌3月分までは手数料で計上している。

今後新庁舎移転までは、年度事にリース契約し手数料で支払う。

成とする。

【賛成多数で可決】

討論

議案第21号

平成25年度高浜町水道事業
特別会計予算

反対討論

渡辺 孝議員

加入金については、資本的収入としてではなく収益的収入とすべきである。

賛成討論

山本富夫議員

加入金等々の不具合については、加入金等々の不具合については、したが、企業会計を組んでおりこの会計については当然問題ない。

【賛成多数で可決】

意見

小幡憲仁議員

議案第24号、28号の条例の制定について、議案22、23号についても同様ですが、地域主権改革で、これまで国の政省令等によって基準どおり、準拠して標準的に作られたと思うが、今後は地方分権という事で高浜町が独自に基準を決めることが出来るようになったので、高浜町に最も適した不審の見直し、作業をしていくことを求める。

8月18日(日)～26日(月)

嶺南市町で開催予定!

第23回世界少年野球大会 福井大会

王貞治氏が高浜町へ来町!!

世界少年野球大会は、日米のホームランキング王王貞治、ハンク・アーロンの両氏が野球を正しく全世界に普及・発展させるとともに、世界の子供たちの友情と親善の輪を広げようとの趣旨で、1990年にアメリカ・ロスアンゼルス市で開催されてから毎年夏に開催されているようです。

先日、王貞治氏自らが大会開催の依頼に高浜町に来町されました。第23回目となる今大会は嶺南地

域を主会場に8月18日(日)から26日(月)までの9日間、世界13か国・地域から125名の少年少女が野球教室に参加するほか、大韓民国と中華台北から少年野球チームを招待し、福井県内12チームと交流試合が予定されており高浜町からは代表2チームが参加します。

高浜町の少年野球3チームの紹介をします。青郷クラブは萩野博幸監督を中心に「野球の原点に携



青郷クラブ



高浜クラブ



若狭和田マリナーズ



大会開催の依頼のため高浜町に来町された王貞治氏

わる者として責任の重さを感じながらグラウンドに立っている」と子供たちの信頼を背に指導されています。高浜クラブは川嶋祥和監督を中心に「子供たちの成長していく姿を楽しみ勝てるチームづくりを目指す」を目的に約60名の子供たちを指導されています。最後に若狭和田マリナーズは磯部章監督を中心に「野球活動を通じて、コツコツ努力することの大事さを学んで欲しい」と創設30年の歴史と少人数チームの良さを最大限引き出した指導されています。

この3チームの中から代表2チームが大会に出場されます。大会にエールを送り町民の皆さまのご声援を宜しくお願いします。

文責 山本富夫

編集後記

桜の開花が全国で開かれる中、3月定例会を終えました。

新年度予算議会で大震災から2年がたち、経済対策、防災、教育施設の整備等、真剣な議論が交わされました。

高浜町も観光客の減少で、経済の不安を危惧されたご意見を多く聞きました。

議会も5月に出前報告会を開催する予定をしています。ぜひ、町民皆様の多くのご参加と、ご意見を、お願いいたします。

この1年間わかりやすく、読みやすい「議会だより」を目指して4回発行しました。これからも多くのご意見をお聞かせ下さい。

文責 西出 秀雄

広報特別委員会

委員長 井ノ元康夫

副委員長 上尾 徳郎

委員 大塚ひとみ

廣瀬とし子

山本 富夫

西出 秀雄